



交流の輪ひろげよう

Ring

Ring

りんぐりんぐ

第69号
VOL.69

八戸国際交流協会
Hachinohe International Relations Association

2023年2月発行
Published February 2023

HAPPY HALLOWEEN !



3年ぶりに、はっちひろばでハロウィンイベントを開催しました。
P2～3に、下半期に実施したその他のイベントの様子について掲載
していますので、ぜひご覧ください。

交流するともっと
わかる世界のこと。

Index

P2～3 … 下半期に実施した協会事業のご紹介

P4 …… 外国人に教えてもらった日本の伝統的技法「金継ぎ」

P5 …… JICA 海外協力隊員の現地レポート

P6 …… 国際交流員のコーナー

P7 …… 教えて マイケル先生!

P8 …… 外国人住民向け防災情報

会員数

個人

128

団体

53

(令和5年2月現在)

下半期に実施した

R4.10.30(日)



八戸ポータルミュージアムはっ
ンイベントを実施しました。
当日は、受付開始前から長蛇の
以上の可愛らしい仮装をした子
どもたちは、まず「トリック
菓子釣りの竿を受け取り、お菓
子を釣った後は、外国人ボラン
を行いました。



R4.11.13(日) 地域で育むBOSAI力講座

今年度は、鯉地区を対象として、鯉公民館で行いました。

日本人は「やさしい日本語」について、岩手大学の松岡教授に講義いただき、外国人は、市防災危機管理課職員から鯉地区の災害の特徴について学びました。演習では、避難所での配給の場面を想定し、非常食の内容や食べ方を、やさしい日本語を使って伝える練習をしました。

参加者からは、「外国人との交流において、やさしい日本語がとても重要だと知れてよかった」との感想をいただきました。



初めて段ボールベッドを作りました！



やさしい日本語が伝わるかな？



”やさしく”するコツとは？

外国人のための日本語教室

八戸国際交流協会では、NPO法人みちのく国際日本語教育センターに委託して、外国人のための日本語講座を開講しています。会話を楽しみながら、日本語を学びましょう。

時 間 午後6時30分～午後8時30分
コ ー ス 週1回 または 週2回（火曜日・水曜日）
対 象 八戸市近郊在住の外国人（レベル別にクラスに分かれます）
受 講 料 時期により異なるのでお問い合わせください。



【お問い合わせ】

ほうじん ことさいに ほんごきょういく
NPO 法人 みちのく国際日本語教育センター
TEL : 080-6051-3109
080-6026-3109
Email : michinokunihongo@gmail.com



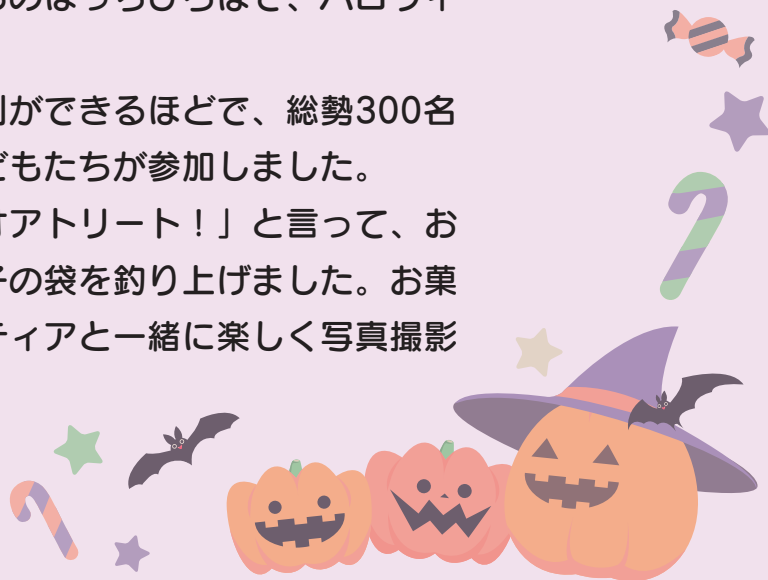
協会事業のご紹介

ハッピーハロウィン！

ちのはっちひろばで、ハロウィン

列ができるほどで、総勢300名
どもたちが参加しました。

「オアトリート！」と言って、お
子の袋を釣り上げました。お菓
ティアと一緒に楽しく写真撮影



多文化交流ラボ 「しゃべるべ」

多文化に興味をもつ、市内在住の外国人と日本人が様々なアク
ティビティを楽しみながら交流します。

R4.11.5(土) 八戸の歴史文化体験



ジュンジ国際交流員も体験

史跡根城の広場で、鎧よろい
と小袖姿で記念撮影
をしたり、えんぶりの
ミニミニ烏帽子えぼし作り
に挑戦しま
した。



R4.12.21(水) クリスマスパティー



プレゼント交換

YSアリーナ八戸で、ビ
ンゴなどゲームをし
たり、プレゼント交換
をしました。



八戸国際交流協会 会員募集！

八戸国際交流協会の会員を募集しています。
当協会は、地域の国際交流や、多文化共生社会の推進を目的として
活動しており、会員の皆様の会費によって運営されている団体です。

年会費 個人 10,000円 団体 100,000円

会員の特典 ●協会発行機関紙「りんぐりんぐ」をお届けします。
●協会主催国際交流イベント情報をいち早くお届け
します。
●協会主催のイベントや外国語講座では会員割引等
の特典があります。

八戸国際交流協会ボランティア募集！

当協会は、国際交流活動に参加していただけるボランティアを募
集しています。ボランティアとして登録できる方は、18歳以上で、
次に掲げる条件を満たす方です。

条 件

- 1)八戸圏域内で活動できる方
- 2)国際交流に対する理解及び熱意がある方

活動内容 通訳・翻訳、ツアーガイド、ホームステイ、その他協会が
認めた活動

外国人に教えてもらった日本の伝統的技法「金継ぎ」^{きんつぎ}

編集長：川崎 康一

思い出のある陶磁器が壊れたら皆さんはどうしますか？ 渋々燃えないゴミとして捨てますか？

日本にはその修理・修復の技術があったのです！ 教えてくれたのは、八戸市の金継ぎ教室に来ている三沢米軍基地のアメリカ人でした。今回は、異国の人が興味を持った金継ぎについて紹介したいと思います。



せいじりん かちゃわん めい ばこうはん*3
＊青磁輪花茶碗 銘 馬蝗絆

金継ぎとは、陶磁器の破損部分を漆で接着し金属粉で装飾する修復方法のことで、茶道で使われるようになったと言われています。化学物質の接着剤や動物性接着剤のパテと違って、天然物質の漆は、直接口をつける上で、安全性も高いでしょう。

漆といえば、八戸市是川縄文館で展示されている遺品の装飾にも塗られていますが、この時代はまだ接着剤としての用途は無かったようです。この修復方法は、NHK WORLD-JAPAN^{*1}でも紹介されていました。重要文化財を修復している方の手際が見事で、割れが全くわからないように、かつその容器がもつ歴史的意味を損なわないように、元の形・色に修復していました。

北京五輪の開会式をプロデュースしたチャン・イーモウ氏監督の“初恋のきた道”という映画作品の中でも、割れた陶磁器を金属製の鍔^{かすがい}だけで修復するシーンがありました。鍔で修復した陶磁器は東京国立博物館でも見ることができ、重要文化財になっています。

イギリスにも“カラーフィル”という、割れた陶磁器をパテで繋げる技法があります。一方、フィリピン、ベトナム、アメリカなど、そのような技法がない国もあります。

八戸で金継ぎ教室を主催している漆塗り工房LANDPROTECT^{*2}オーナーの島守宏和さんにもお話を伺いました。

東日本大震災後に、地元の人から陶磁器の修復ができないかと相談があり、独学で金継ぎの方法を勉強しました。その後八戸で金継ぎ教室を開いて教えるようになりました。それが三沢米軍基地のアメリカ人にも伝わり、外国人対象の個人レッスンとなり、今では試験的に米軍基地内で金継ぎ教室を始めるようにまでなりました。

外国人の指導は、お互いに翻訳アプリを駆使して、身振り手振りを交えながら行っています。外国人は日本語を、私は英語表現を覚えるようになりますが、日本語での曖昧^{あいまい}な表現を伝えるのは難しいです。例えば、漆を練る時の硬さを“耳たぶの様な硬さ”と説明するのはには悩みます。また、作品の出来上がりも、作成者本人が納得



＊修復が終わり金粉塗布作業

するとそれで完了となるのですが、そのような感覚的なことはなかなか伝えられません。

実際に基地内のバザーで津軽塗り製品と金継ぎ製品を展示してみたのですが、金継ぎ製品の方がアメリカ人の興味を惹いていました。壊れたものを修復してまた使う。そしてまたその跡を美として表現する日本人の感性が、アメリカ人の心に響いているかもしれません。金継ぎは、漆活用技術の一つです。金継ぎを通して漆の文化を伝え、青森県が誇る津軽塗にも興味を持って頂けるようにしていきたいと思っています。



＊三沢米軍基地内で開催されたバザーで展示した金継ぎ

*1: <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/ondemand/video/3016118/>

*2: <http://landprotect.jp>

*3: 出典：ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/>)

JICA海外協力隊員の現地レポート



おいらせ町出身 たねいち 種市 かおり 香織さん

JICA海外協力隊(2019年4月～2021年4月)としてベトナムで活動
現在はJICAベトナム事務所でNGOコーディネーター



チャウドック市の寺院（バーチュアスー廟）

ベトナムで暮らし始めてもうすぐ4年。そのきっかけとなったのは、JICA海外協力隊です。2019年4月、初めて訪れたベトナムはとにかく蒸し暑くて、第一印象は「本当にここで生活できるのだろうか」という不安しかありませんでした。私がJICA海外協力隊として活動していたアンザン省チャウドック市は、ベトナムの南西部、カンボジアとの国境沿いにある町で、ベトナム仏教徒の聖地であるサム山をはじめ、多くの寺社仏閣が点在しているスピリチュアルな観光地です。私はその観光地を管理している委員会に配属され、同僚とともに観光業者のサービス向上や情報発信に取り組んでいました。

最初の頃はベトナム語（特に発音）がほとんど伝わらず、同僚に「どうしてベトナム語が話せないんだ」と何度も言われ、悔しい思いをしました。思っていることはたくさんあるのに伝えられないもどかしさがいつもあって、一時期は「ベトナム語もベトナムも嫌いだ!」と思うまでになるほどでした。それでもめげずに話していたら、周りが私のベトナム語の発音に慣れて、少しずつコミュニケーションがとれるようになりました。そして同僚も、観光業者と一緒に回ってアンケート調査をしたり、ウェブサイトを投稿をしたりと、私の活動に協力してくれるようになりました。

順調に活動が進んでいた矢先、2020年3月、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界中のJICA海外協力隊が一時帰国を余儀なくされました。いつベトナムに戻れるか分からない不安の中、ベトナム語の勉強に励んだり、在日ベトナム技能実習生に日本語を教えるボランティアをして過ごしました。そして、2020年11月、ついにベトナムへ戻ることができました。いつも親身になってくれる配属先の上司に再会した途端、涙が出てきて思わずハグしました。さらに、「ここは安全だから、感染対策をきちんとしていれば大丈夫。安心して活動してね。もし何かあればいつでも相談して。」と気遣ってくれたのも嬉しかったです。



JICA海外協力隊の活動
(観光業者との意見交換)



上司や同僚

最初の頃、あんなにベトナム語やベトナムが嫌だと思っていたのに、気がつけばベトナムが大好きになっていました。任期が終わった後もこのままベトナムにいたいという思いが強くなり、縁があってベトナムでの仕事に就くことができました。現在はJICAベトナム事務所で、NGOコーディネーターとして、日本のNGO等団体がベトナムで活動するためのサポート業務をしています。

そんなこんなで、もうしばらくはベトナムでの生活をしたいと思います。



カメイ歯科

八戸市六日町23 (コンサートホールとなり)
TEL 0178-22-0707

診療時間 平日 (月火水金) 10:00～14:00 15:00～19:00
木曜土曜 10:00～14:00

・六日町パーキング券・共通駐車券を差し上げております。



〒039-2241
八戸市市川町字轟木前 34-3
TEL 0178-52-5511
FAX 0178-52-5503
ホームページ <http://www.todoroki.info/>

国際交流員 (CIR) ジュンジのコーナー！

日本とアメリカの文化の違い Japanese culture VS. American culture

少々遅れましたが、明けましておめでとうございます！

It might be a little late, but I would like to say Happy New Year to everyone who's reading this, and I hope you have been doing so far so well in this brand new year!

日本に来て、いわゆるカルチャーショックというものもたくさん経験しました。一番ビックリしたことは、やはり日本人の「紙」に対する執着になります。

It has already been one year and a half since I came to Hachinohe, and I have experienced a lot of so-called "culture shocks." Among those, the most surprising, and complicated part for me was Japan's strong reliance with the "paper".

アメリカでは、それこそ自分の命や財産に直接関わるもの以外、「紙」に記して保存するというやり方はほぼ取りません。むしろそういった手続きや権利書などでも、紙の書類よりも、オンラインで電子保存したほうが安心できると思う人が多いぐらいです。日本に来てからしてきた無数の書類手続きは未だに「非効率的だ」と感じてしまいます。

In the U.S., we rarely file and store documents on "paper" unless it is really important and directly related to our lives or property. In fact, many people might even feel safer saving such procedures and rights documents electronically rather than on paper. I still don't understand the countless paper procedures I have had to go through since I came to Japan, and I would still say that it is extremely inefficient.

そんな私ですが、逆に完全に「日本」に染まった部分もあります。例を挙げると、すっかり生卵と味噌スープが大好きになりました。アメリカでは、海藻はあまり食べられていませんし、生で食べられる卵もほとんど買えません。このままアメリカに戻ったら、どうやって生きていったらいいのか分からなくなりそうで怖いです。

However, on the other hand, some parts of my life have turned completely into the "Japanese way." For example, I have already fallen in love with raw eggs and miso soup. In the U.S., seaweed is not very popular, and you can hardly buy eggs that can be eaten raw. I am afraid that if I go back to the U.S., I will not know how to live without delicious raw eggs and miso soup.

こういった色々な「違い」に満ちている毎日は、私にとって興味深く、「異文化交流」というテーマに対する理解をより深めてくれました。



Having said all above, the time I spent here in Hachinohe was filled with various "differences" in both cultures and living styles. Though some of those "differences" were not completely acceptable for me, discovering such differences was meaningful for me and it had also deepened my understanding on the idea of "Cultural Exchange."

そんな中、私は去年、多文化交流ラボ「しゃべるべ」というイベントを開催しました。八戸市に在住している日本人と外国人の方々が、気軽に交流できる場を提供するための企画です。毎回模索しながらイベントの内容を考えました。最初こそは思い通りにいかないこともありましたが、最終的に、参加者の方々から前向きなコメントをたくさんもらうことができました。

Last year, we organized a monthly event called "Shaberube," a multicultural exchange event, with the goal of providing a place for Japanese and non-Japanese residents of Hachinohe City to interact and communicate with each other. Although we were not prepared enough and met some problems at the beginning, in the end, we received a lot of positive comments from the participants.

「文化の違いを知り、楽しむ」という私の中の「国際交流」の在り方を少なからず参加者に伝えられたかなと思います。

I hope that we were somehow able to convey to the participants what I see in "international exchange" as "learning about and enjoying different cultures."

2023年に入りましたが、来年度も続けて「しゃべるべ」をやりたいと思います。今この文章を読んでいる方々も、もし気軽に多文化交流に興味がありましたら、ぜひ参加してみてください！

As we enter the year 2023, we would like to continue to hold "Shaberube" this year for more attractive content. If you are reading this right now and would like to have a casual cultural exchange experience, please join us in the near future!



教えて！マイケル先生！

＝ 八戸警察署で聴いてきました part2 ＝

はちのへ なが す かな だ しゅっしん まい ける も り す
八戸に長く住んでいるカナダ出身のマイケル・モリスさんが、
がい こく じんじゅう じん し じょうほう つた だい かい
外国人住民に知っておいてほしい情報を伝えます。第3回となる
こん かい ごう ひ つづ くるま うん てん めん きょしやう しゅ とく
今回は68号から引き続き、車の運転免許証の取得についてです。



Michael's Classroom

じぶん くに うんてんめんきょしやう ひと にほん めんきょしやう か あおもりけんない
自分の国で運転免許証をもらった人は、日本の免許証に替えます。ただし、青森県内で
か しんせい あおもりけんうんてんめんきょ せん たー あおもりし よやく ひつよう
替える申請ができるのは、青森県運転免許センター（青森市）だけで、予約が必要です。

For those who have already obtained a driver's license in their own country can exchange it for a Japanese driver's license. However, the Aomori Driver's License Center is the only place in Aomori Prefecture (located in Aomori City) where you can apply to exchange your driver's license, and an appointment is required.

しんせい さいいじよう ひと めんきょ せん たー しけん め けんさ ひつ き しけん じつぎ き
この申請は18歳以上の人ができます。免許センターでの試験には、目の検査や筆記試験・実技があります。また、聞
と き取りがあるので、日本語が話せない人は通訳者と一緒に免許センターに行ってください。

This application is only available to those who are 18 years old or older. The test at the license center includes an eye examination, written test of traffic rules, and driving test. In addition, there is also a listening comprehension, so those who do not speak Japanese should go to the license center with an interpreter.

しん せい ひつ よう した
申請するときに必要なものは、下の6つ
のものです。

- ① じゅうみんひょう ざいりゅうかーど
住民票または在留カード
- ② ぱすぽーと
パスポート
- ③ しゃしん まい
写真2枚
- ④ じぶん くに ゆうこう うんてんめんきょしやう
自分の国の有効な運転免許証
- ⑤ じぶん くに めんきょしやう にほんご なお
自分の国の免許証を日本語に直したもの
- ⑥ かね しけん う かね えん めんきょしやう
お金（試験を受けるためのお金2,550円と免許証
をもらうためのお金2,050円、あわせて4,600円）

くわ 詳細は、あおもりけんけい ほーむ ペーじ をらん
詳しくは、青森県警のホームページをご覧ください。

<http://www.police.pref.aomori.jp>

When applying, you will need
to prepare the items in listed
below.

- ① Residence card
- ② Passport
- ③ Two ID photos
- ④ Valid driver's license of your own country
- ⑤ A Japanese-translated copy of your country's driver's license
- ⑥ Application fee (4,600 yen in total, in which 2,550 yen to take the test and 2,050 yen to receive the license)

For more information, please visit the Aomori Prefectural Police website at the following link:

<http://www.police.pref.aomori.jp>

また、自分の国で、道路交通に関する条約（ジュネーブ条約）に基づき「国際運転免許証」を持っている人も、日本での
うんてん 運転ができます。各国・地域の「国際運転免許証」については、警察庁のホームページをご覧ください。

https://www.npa.go.jp/policies/application/license_renewal/have_DL_issued_another_country.html

Last but not least, for those who have an international driver's license based on the Convention on Road Traffic (Geneva Conventions) in their own country can also drive in Japan. For detailed information on international driver's licenses for each country/region, please visit the National Police Agency's website below:

https://www.npa.go.jp/policies/application/license_renewal/have_DL_issued_another_country.html

Hachinohe City Disaster Prevention Information for Foreign Residents

八戸市では、ホームページで外国人住民向けの防災情報を、英語とやさしい日本語で提供しています。防災知識を増やし、日ごろから災害に備えるために、いつでも見るできるようにしてください。

Hachinohe City provides disaster prevention information for foreign residents in English and simple Japanese on the website. Please make sure you can check it at any time to increase your knowledge about disaster prevention and prepare for disasters on a daily basis.

ホームページ

下のQRコードまたはリンクから、ホームページを見ることができます。

<https://bit.ly/3fzCwjH>

★外国人向け防災情報ホームページ➡

提供情報

①災害時避難情報
避難の指示や避難所の開設情報をお知らせします。

②災害に備えるための情報
防災ガイドブックや避難所の一覧表を掲載しています。

③災害時に便利な多言語情報
防災情報を多言語で読めるつぎのアプリやウェブサイトのリンクを紹介しています。

←災害情報がわかる「Safety tips」

避難所の場所がわかる「全国避難所ガイド」➡

Website

You can access the website from QR code or link below.

<https://bit.ly/3fzCwjH>

★Disaster Prevention Information ➡

Information delivered

①Disaster Evacuation Information
Evacuation orders and shelter opening information

②Information to Prepare for a Disaster
Disaster prevention guide book and the list of shelters

③Useful Multilingual Information Links
Links to apps and websites that offer disaster prevention information in multiple languages

← Safety tips is an app for giving you disaster information.

Japan Shelter Guide is an app for ➡
Searching for disaster evacuation Shelters in Japan.

れんらくさき Contact Information

八戸市 市民連携推進課
国際交流グループ

Citizen Collaboration Promotions Section International Relations Group
〒031-8686 1-1-1 Uchimar Uchimar Uchimar
TEL 43-9257 FAX 47-1485 Email renkei@city.hachinohe.aomori.jp

外国人のお友だちにも
教えてあげてね!



編集後記

八戸市で開催された冬季国体のスピードスケート競技では、各県の代表選手を応援する小学生の歓声が聞かれました。競い合う場面では、やはり色々な歓声が自然と出るものですが、それを約3年間、コロナ感染防止の為に我慢してきました。

しかし、少しずつですが元に戻ってきています。国際交流においても、人数を制限しながら活動を続けており、本号では、その中で実際に行った事業を紹介しています。

来年度は八戸市の主なイベントも再開されるようですので、国際交流イベントの実施にもぜひご期待ください。

編集スタッフ

編集長：川崎 康一
編集員：田頭 順子 亀井 圭子 Micheal Morris
岩間 未希子 今井 文子 ジュンジ・ヤン
田中 野

発行・お申込み・お問合せ：
八戸国際交流協会（八戸市市民連携推進課内）
〒031-8686 八戸市内丸1-1-1
TEL 0178-43-9257
FAX 0178-47-1485
E-mail info@hachinohe-hira.jp
http://hachinohe-hira.jp

印刷：新光印刷株式会社
〒031-0813 八戸市新井田字鷹清水9-11
TEL 0178-34-5331 FAX 0178-34-6078